

# HP ProLiant ML110 Generation 2サーバ インストール シート



取り付けを開始する前に、  
必ずこのカードをお読みください。

© Copyright January 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Intel、インテルおよびPentiumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

HP ProLiant ML110 Generation 2サーバ インストール シート

初版（2005年1月）  
製品番号 375600-191



375600-191

## サーバの設定

- すべての周辺装置を接続します。
  - キーボード
  - マウス
  - モニタ

注：HP ProLiant ML110 Generation 2 Server Support CDには詳しい資料が収録されています。このインストール シートには掲載されていない、追加情報および更新情報については、CDの資料を参照してください。

- 次の手順を実行して、サーバのBIOSバージョンを確認します。
  - サーバの電源を入れます。
  - HPロゴ画面で**Esc**キーを押し、次に**Pause**キーを押して画面を停止します。
  - サーバのBIOSバージョンをメモします。
  - メモしたサーバのBIOSバージョンを、HPのWebサイト <http://www.hp.com/jp>に掲載されているこのサーバの最新のBIOSバージョンと照合します。
  - 最新のBIOSが搭載されていない場合は、ここでBIOSを更新します。

HPのWebサイト <http://www.hp.com/>（英語）で入手できる『HP ProLiant ML110 Generation 2 Server Maintenance and Service Guide』を参照してください。

## デフォルトのブート優先順

デフォルトでは、サーバは、次の順序でブート デバイスを検出します。

- リムーバブル デバイス
- IDE CD-ROMドライブ
- ハードディスク ドライブ
- PXE IBA GEスロット0A08 V1219

## サーバの各部

### フロント パネルの各部

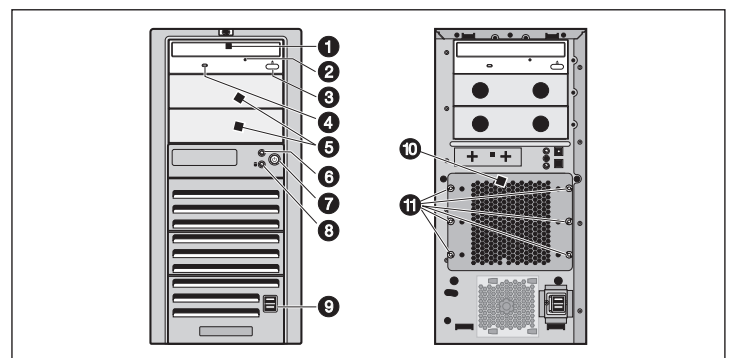


表1：フロント パネルの各部

番号	説明
1	CD-ROMドライブ
2	CD-ROMドライブのメカニカル取り出しホール
3	CD-ROMドライブの取り出しボタン
4	CD-ROMドライブ動作インジケータ
5	フルハイト共通ベイ

続く

表1：フロント パネルの各部（続き）

番号	説明
6	デュアルカラー ステータスLEDインジケータ <ul style="list-style-type: none"><li>・ 緑色 – 電源インジケータ</li><li>・ 黄色 – システム ヘルス インジケータ</li></ul>
7	電源ボタン
8	ドライブ動作インジケータ（黄色）
9	フロントUSB 2.0ポート
10	ハードディスク ドライブ（HDD） ケージ
11	HDDケージ用トルクス ネジ

リア パネルの各部

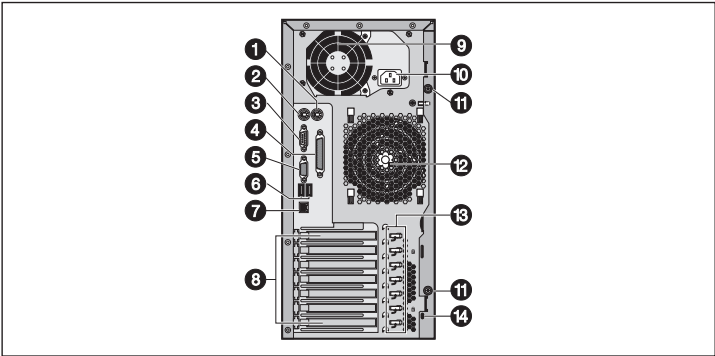


表2：リア パネルの各部

番号	説明
1	PS/2マウス ポート（緑色）
2	PS/2キーボード ポート（紫色）
3	シリアル ポート（青緑色）
4	パラレル ポート（赤紫色）
5	モニタ ポート（青色）
6	リアUSB 2.0ポート（黒色）
7	LANポート（RJ-45）
8	PCIスロット カバー
9	PSUファン
10	パワー サプライ ケーブル ソケット
11	アクセス パネル用つまみネジ
12	システム ファン
13	PCIスロット カバー用固定クリップ
14	Kensingtonロック ノッチ

システム ボードの各部

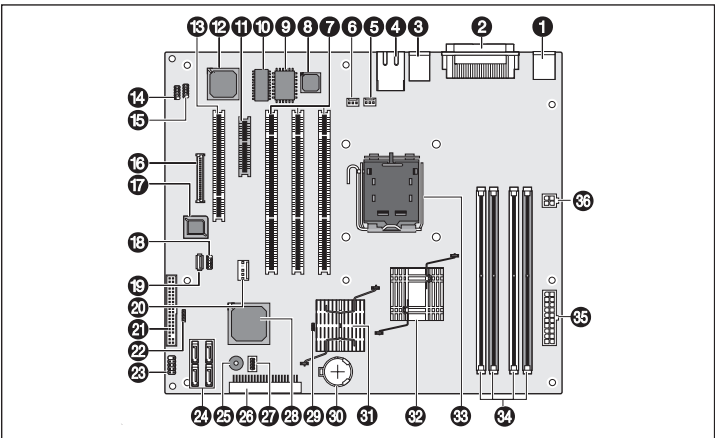


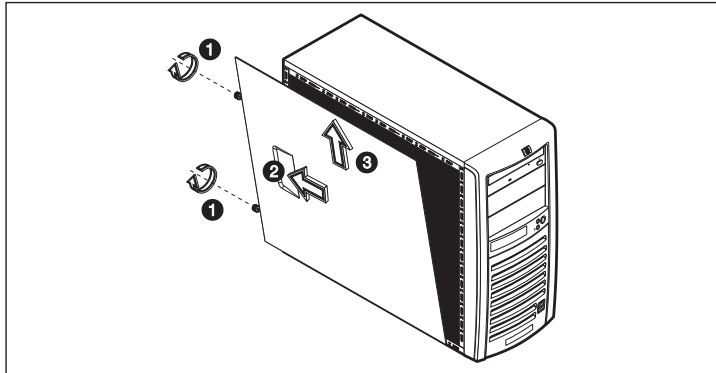
表3：システム ボードの各部

番号	コード	説明
1	CN1	上側：PS/2マウス ポート（緑色） 下側：PS/2キーボード ポート（紫色）
2	CN2	上側：パラレル ポート（赤紫色） 左側：モニタ ポート（青色） 右側：シリアル ポート（青緑色）
3	CN5	USB 2.0ポート（黒色×2）
4	CN6	LANポート（RJ-45）
5	CN7	3ピンCPUファン コネクタ
6	CN10	3ピン システム ファンコネクタ（背面）
7	PCI1～PCI3	64ビット/100MHz 3.3V PCI-Xバス スロット（×3）
8	U13	インテルGD8254IPI GbE LANコントローラ
9	U17	SMSC LPC47M192 Super I/Oチップセット
10	U18	VGAフレーム バッファ
11	PCI4	PCI-Express x4バス スロット
12	U22	ATI Rage XL VGAチップセット
13	PCI5	32ビット/33MHz 5V PCIバス スロット
14	CN22	9ピンBMC COMコネクタ
15	CN24	9ピン拡張シリアル コネクタ（COM2）
16	CN20	IPMIコネクタ
17	U34	BIOS
18	CN21	9ピン フロントUSBコネクタ
19	CN27	内部USBコネクタ
20	CN17	内部USBコネクタ（内蔵USBテープ用）
21	CN18	34ピンFDDコネクタ
22	CN13	4ピンSCSI LEDコネクタ
23	CN16	9ピン フロント パネル コネクタ
24	SATA0～SATA3	7ピン150MB/秒SATAコネクタ（×4）
25	BZ1	内蔵ブザー
26	IDE1	IDEチャンネルUDMA-100
27	SW1	システム コンフィギュレーション スイッチ（ディップスイッチ）
28	U46	インテルICH6Rチップセット（サウス ブリッジ）
29	JP1	PCI-Xバス速度ジャンパ ジャンパ設定： <ul style="list-style-type: none"><li>・ 1～2 – 133MHz PCI-X バス（デフォルト）</li><li>・ 2～3 – 100MHz PCI-X バス</li></ul>
30	BT1	バッテリー
31	U16	インテル6702 PXH-Vチップセット（PCIブリッジ）
32	U9	インテルE7220チップセット（ノース ブリッジ）
33	U10	インテルLGA775 CPUソケット
34	DIMM1～4	DIMMスロット（×4）
35	PWRCON2	20ピン、ATXシステム ボード電源コネクタ
36	PWRCON1	4ピン、ATX CPU電源コネクタ

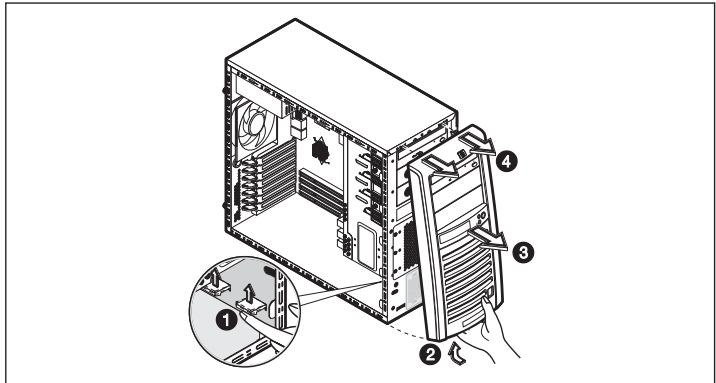
## サーバを開く

ProLiant ML110 Generation 2サーバでは、アクセス パネルとフロント ベゼルを取り外せます。サーバ コンポーネントの取り外しや交換を行う前に、これらのシステム カバーを取り外してください。

### アクセス パネルを取り外す



### フロント ベゼルを取り外す



## 大容量記憶装置の取り付け

フロント パネルの下側のドライブ ベイにはHDDケージがあり、最大4台のハードディスク ドライブを搭載できます。ホットプラグ対応HDDケージ モデルは、SATAドライブのみをサポートしますが、非ホットプラグ対応モデルは、SATAドライブとSCSIドライブをサポートします。

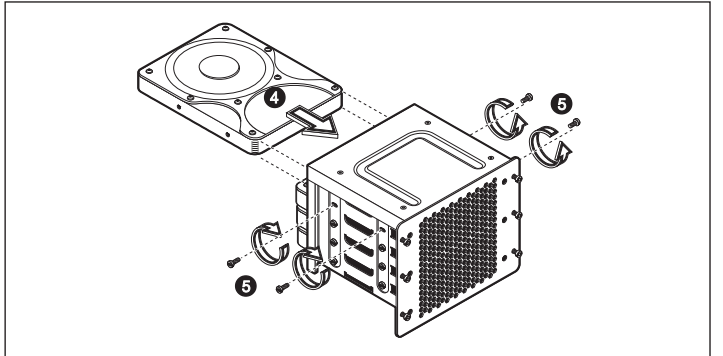
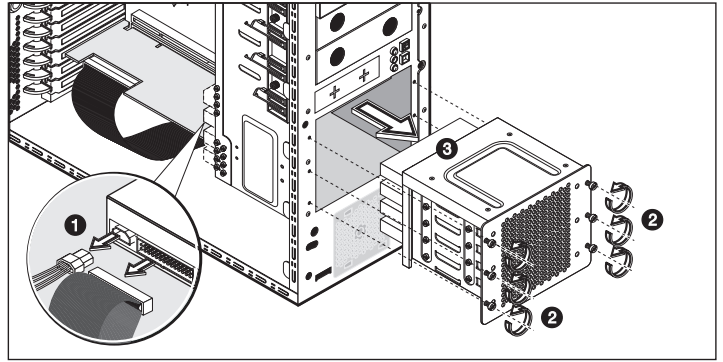


**注意：** 静電気によってドライブが損傷することがあります。ドライブを取り扱う前に、非塗装の金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

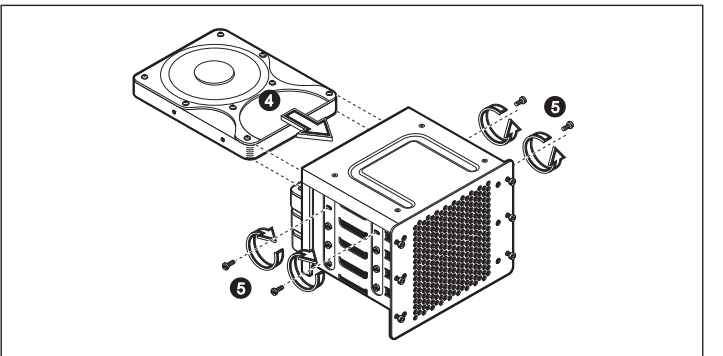
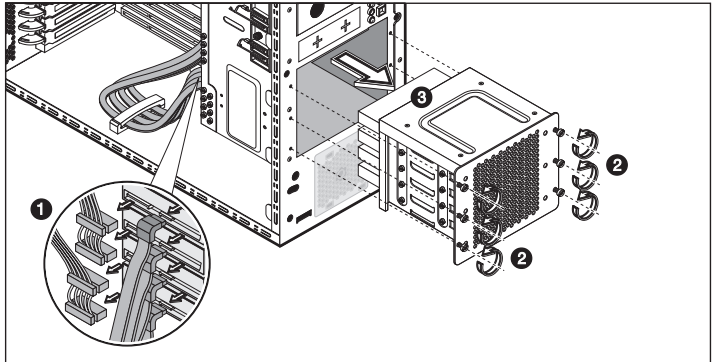


**警告：** 非ホットプラグ対応ドライブを取り付ける場合は、まず、サーバの電源を切ってください。

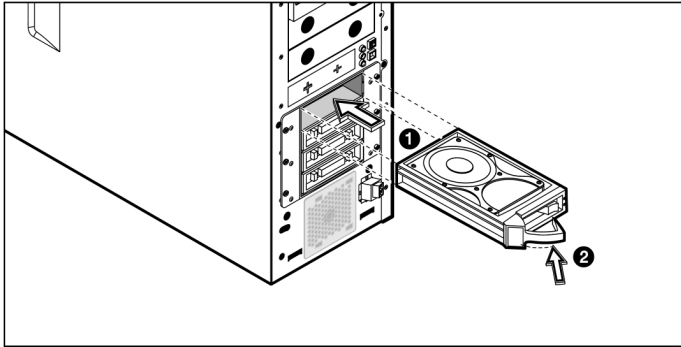
### 非ホットプラグ対応SCSIドライブ



### 非ホットプラグ対応SATAドライブ



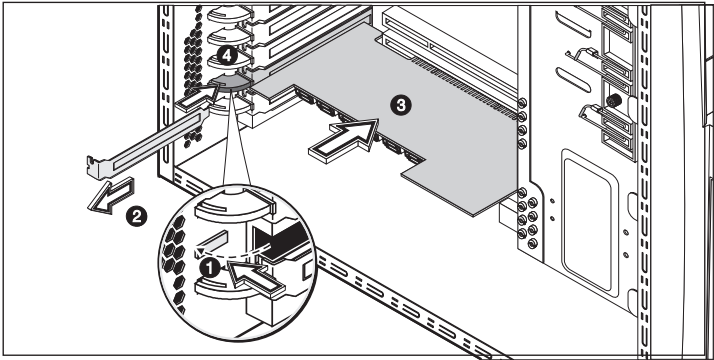
## ホットプラグ対応SATAドライブ



## PCIアクセサリボードの取り付け

HP ProLiant ML110 Generation 2サーバは、PCIバス スロットを5個サポートします。

- 64ビット/100MHz 3.3V PCI-Xバス スロット (×3、PCI1～PCI3)
- PCI-Express x4バス スロット (×1、PCI4)
- 32ビット/33MHz 5V PCIバス スロット (×1、PCI5)



## メモリの取り付け

HP ProLiant ML110 Generation 2サーバには、DIMMスロットが4個あり、最大4GB（各スロットに1GB DIMMを搭載時）のシステムメモリをサポートします。

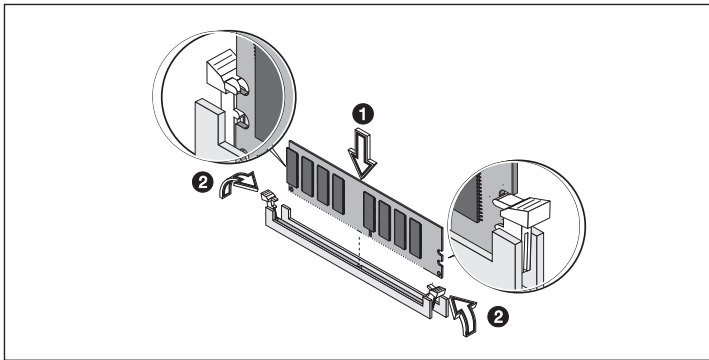
メモリ モジュールの追加または交換の際は、次のガイドラインに従ってください。

- 各256MB、512MB、または1GB構成で、ECCおよび非ECCのDDR 400バッファなしDIMMを使用します。これ以外のDIMMは使用しないでください。
- チャンネルごとに、シングルサイドやダブルサイドの最大2枚のDIMMを使用できます。チャンネルAがDIMM1およびDIMM2スロット、チャンネルBがDIMM3およびDIMM4スロットに対応します。



**注意：** DIMMの取り扱いを誤ると、DIMMが損傷する場合があります。

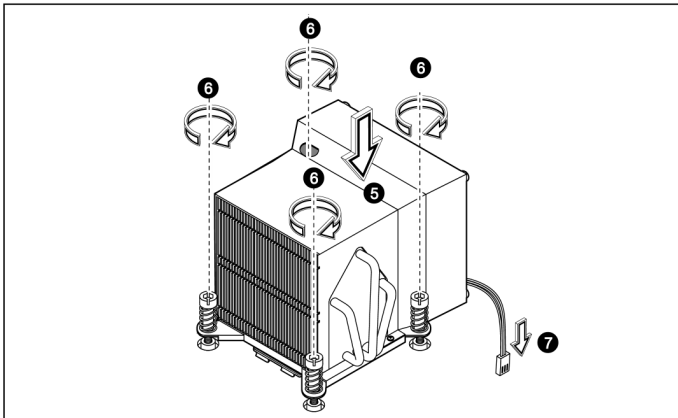
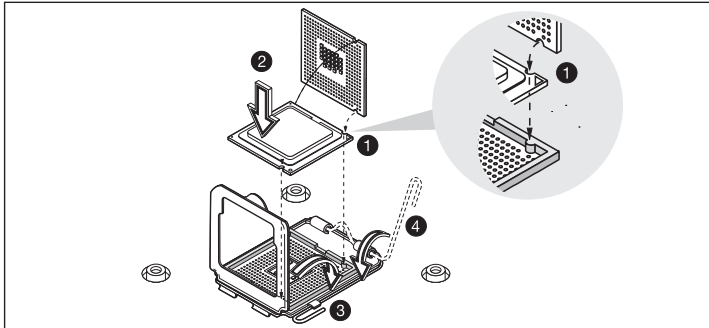
必ず、静電気放電用のアース バンドおよびアース用マットを使用してください。また、DIMMに触れる前に、必ず静電気を放電してください。



DIMMスロットは、DIMMを正しく挿入できるように設計されています。DIMMをスロットに簡単に挿入できない場合は、方向などが間違っている可能性があります。DIMMの方向を変えて、もう一度挿入してみてください。

## プロセッサの交換

HP ProLiant ML110 Generation 2サーバのLGA775 CPUソケットは、インテル® Pentium® 4プロセッサをサポートします。



## 追加情報の入手

追加資料については、HP ProLiant ML110 Generation 2 Server Support CDを参照してください。また、HPのWebサイト<http://www.hp.com/jp>に直接アクセスするか、またはSupport CD経由でアクセスすることにより、追加情報や追加資料を入手できます。